



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

安倍首相の辞任表明、収束しない新型コロナウイルス感染症、熱波、大雨、台風と続く天候不順…、最近の安心安全をめぐる話題をまとめました。

防災

◆避難勧告、指示一本化へ

8月28日は、武雄市、大町町、白石町、多久市を中心に豪雨災害が発生して1年になります。今年も熊本県球磨川流域で大水害が発生しました。大雨等の際に市町から発令される避難勧告・指示が分かりにくく、避難が遅れる事例が数多くありました。このため、国・内閣府では指示を一本化して、来年の梅雨時から運用されるように作業を進められています。

警戒レベル	5	▶災害発生情報	新たな避難情報を創設(名称未定) 指示と勧告を一本化 変更なし // //
	4	▶避難指示(緊急) ▶避難勧告	
	3	▶避難準備・高齢者等避難開始	
	2	▶大雨注意報 ▶洪水注意報	
	1	▶早期注意情報	

コロナ

◆新型コロナウイルス感染者県内で242名

新型コロナウイルス感染者は9月8日現在で242名となった。このうち重症者数は0名、死者0名、軽症者8名。年代では10代以下23名、20代69名、30代48名、40代24名、50代31名、60代18名、70代以上29名となっている。最近では20代、30代の感染者が多く、家庭内や飲食店での感染が増えています。市町別では佐賀市38%、小城市17%、鳥栖市12%、唐津市7%、武雄市4%、神埼4%、白石町3%の順になっています。今後、寒くなるにつれて風邪、インフルエンザの流行期とも重なります。マスクの着用、3密対策の着実な実施がまだまだ続きます。

PCR検査陽性者数	242
県内での医療提供者数	242
入院者数	8
ホテル療養者数	0
退院者数	234
退院後ホテル利用者数	0
入院調整中	0
死亡者数	0

患者発生状況(2020.9.8現在)

◆国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会

2023 → 2024 1年延期

新型コロナウイルスの影響で今年10月の鹿児島県での開催が断念されたことに伴い、2023年に佐賀県での開催が内定していた大会が2024年に延期されました。情報支援者の養成は1年間の猶予期間を得ました。手話通訳者・要約筆記者の養成に引き続き工夫をこらして努めます。



年	県名
2021	三重
2022	栃木
2023	鹿児島
2024	佐賀

◆台風・猛暑

大雨の次は猛暑そして台風



7月30日に九州北部は平年より11日遅く梅雨明けしましたが、間をおかず猛暑が来襲しました。気象庁によるとチベット高気圧と太平洋高気圧が日本上空で重なったのが要因と説明されています。

8月30日には佐賀市で37.9度と今年一番の暑さを記録しました。さらに日本の南海上で海水温の上昇のため、太平洋側の地域への接近が多くなってきました。9月7日には台風10号が来襲し、最大風速41.6mを記録し被害が発生しました。

要注意

◆新型コロナウイルス電話詐欺

- ・保健所を名乗り「コロナの検査キットを送ります。家族構成を教えてください。」
- ・「高齢者にはコロナで助成金がです。キャッシュカードを用意しておいてください。」



◆熱中症に注意

しばらくは「3とる」も実行

一方では、地球温暖化等の影響で従来暑さも秋分の日彼岸までとの定説もいささかあてにならない状況です。

しばらくは「3とる」も実行して熱中症対策に気をつけましょう。特に高齢者はマスクで口元が保湿され、のどの渇きを感じにくいなど要注意です。

『距離をとる』『マスクをとる』『水分をとる』



シリーズ (33) 山口相談医の一言コメント

音響性聴覚障害について その1



大きな音による聴覚障害を音響性聴覚障害と呼びます。例えば、工場や船の機関室のように大きな音に長期間(数年、数十年のレベルで)さらされる環境に関わると、特徴のある難聴になることがあります。典型例では、聴力検査を行うと、周波数 4000Hz の聞こえ方が、目立って悪くなる、というものです。これを騒音性難聴と言います。初期は 4000Hz だけですが、だんだんとその周囲の周波数にも低下を生じていきます。騒音性難聴では長い経過の中で聞こえが悪くなりますので、慢性に進行する病態です。

方、短時間での強い、大きな音によって急に聞こえが悪くなる場合もあります。急性音響性難聴、音響外傷と呼ばれる状態です。前回までの急性難聴に分類されるものです。よくある音響外傷は、コンサートで大きな音を聞くことです。その後しばらく聞こえにくくなる事があります。軽ければ、数日で良くなりますが、ひどいと内服薬などでの治療が必要になります。場合によっては、治らない難聴をきたすこともあります。

実は、大きな、と言うより、大きすぎる音に対しては、耳の方で防衛機能があります。鼓膜についている小さな骨、耳小骨は、本来音を伝えるためにありますが、大きすぎる音にたいしては内耳を守るために、音を伝えにくくする機能が備わっています。ある程度の音はそれで防御しますが、長時間であったり、強大な音であると、防ぎきれません。皆さん、大きな音にはご用心ください。

巡回聞こえの相談>>

9月16日(水) 10時~15時 江北町役場
10月14日(水) 10時~15時 武雄市文化会館
11月17日(火) 10時~15時 有田町生涯学習センター

耳サポーター養成講座>>

10月3日(土) 13時30分~15時
10月10日(土) 13時30分~15時
10月24日(土) 13時30分~15時



難聴者日曜教室>>

9月13日(日) 11時~12時 スマホ110番

編集後記：台風が過ぎて少し涼しくなりました。(5)

●企業に巡回相談(ろう者ピア)

聴覚障害者を雇用している企業等における巡回ピアカウンセリングをはじめます。

これまで毎年、全部の20市町を巡回してのピアカウンセリングに加えて、今秋から職場での人間関係やトラブル等について企業に出向いて相談を行います。日程等については企業と調整して実施します。

●佐賀県立ろう学校 高等部 職業科作品展

県立ろう学校の高等部の生徒8名が作った木工や小物の作品が佐賀商工ビルで8月26日(水)~28日(金)の期間展示されました。



●ウィズコロナ時代の情報保障

難聴者が会議等を行う場合の要約筆記は新型コロナ禍にあっても必要です。

しかし、難聴者が集まることもできず、一方で要約筆記者の中には派遣参加を禁じられている職場もあります。

このような情勢に対応し、ウィズコロナ時代の情報保障について

・全国要約筆記問題研究会(全要研)
・全国オンライン文字通訳問題研究会(文字通研)
主催のZoomウェビナーがありました。(8/22,8/29)
(詳しい内容はみみより10月号に掲載します。)

プラスヴォイスでは24時間無償の緊急通訳対応を9月5日(土)より提供されています。詳細はホームページでご確認ください。



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始